

令和4年度 第2回教職員による学校評価（自己評価） まとめ

1 実施日

- 令和4年12月14日～23日

2 回答数

- 小学部 72 中学部 35 高等部 52 事務部 11 計 170

3 見方

- 評価の判断基準として、4段階のうち高評価（「4」もしくは「3」）の合計%で示している。

4 評価結果の分析

(1) 数値による評価

ア 学校全体における、高評価（「4」もしくは「3」）の割合が95%以上の項目

分類	評価項目	「4」・「3」の割合
教育の質の向上	② 授業力の向上に努めるとともに、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援が充実しているか。	全体：96%
安心・安全	④ インシデントレポート等を活用することで、安全に配慮した教育環境の整備や事故等の未然防止に努めているか。	全体：97%
	⑤ 児童生徒の人権を尊重した関わりや、児童生徒一人一人が安心できる居場所づくりが行われているか。	全体：98%
	⑥ 危機管理マニュアル等を活用し、感染症対策や危機管理体制は充実しているか。	全体：96%
信頼	⑦ 教職員としての基本姿勢を確立し、信頼される学校づくりを目指して服務規律の厳正な確保に努めているか。	全体：98%
	⑧ 巡回相談等の支援体制の充実を図ることで、地区内における特別支援教育のセンター的機能を発揮しているか。	全体：96%
	⑨ 連絡帳・ミーティング・支援会議等を活用し、保護者や関係機関との協力・連携が図られているか。	全体：98%

イ 高評価（「4」もしくは「3」）の割合が84%以下の項目

分類	評価項目	「4」・「3」の割合 ※（ ）は昨年度の割合
教育の質の向上	③ キャリア教育の視点を踏まえ、小・中・高のそれぞれの段階で卒業後の生活を見据え、一人一人の障害の状態や発達段階に応じた教育活動が展開されているか。	中学部：83%（94%）
業務改善・働き方改革	⑩ 効率的な業務の推進及び適切な勤務時間の管理がなされ、働きやすい職場環境づくりが推進されているか。	全体：82%（74%） 小学部：80%（76%） 中学部：80%（74%） 高等部：83%（72%）